

日本瓦、漆喰、木格子、深い軒  
景観に調和する日本建築の美



(右)ベンガラ色の漆喰壁の丸窓からリビングを覗く。いつも暮らしている何げない風景が、額縁の絵のように巧みに切り取られる。住まいの伏見では、こんな意匠を凝らした遊び心が随所に施されている。一そこには、住まうを思い、手間暇を惜しまない職人の心意気が詰まっている (左)深い軒が雨風や夏の厳しい日差しを遮る。ここにも、高温多湿な日本の気候風土を念頭に置いた和風建築の知恵がある。繊細な細工が施された格子の引き戸や軒裏の端正な大工仕事は他に類を見ない程。明り取りのスタンドグラスや表札に至るまで、調和のとれた美しい佇まい